

地域創生のための連携活動実践と推進ネットワークづくり

活動場所：左京区・中京区・山科区 ほか 活動開始：平成14年5月～

京都工芸繊維大学
佐々木まちづくり研究室



松ヶ崎自治連合会
明倫・城巽・本能自治連合会
百々自治連合会
三専会及び三条会商店街

三条通を考えよう会
NPO法人 生活環境づくり21
社会福祉法人青谷福祉会
京都市景観・まちづくりセンター ほか

■ 地域が抱えていた課題

京都のまちなかでの伝統的な職住共存コミュニティへ求められる横断的な再生支援施策の困難さ、さらにはそこからの地区独自の細やかな再生の流れ作りの必要性。これらが当初から変わらぬ課題となっている。

■ 取組（連携）のきっかけ

「教育」「研究」「実践」の三身一体の体制づくりの中で、学生を巻き込み、現場視点を尊重した活動実践を行ってきた。その間、大学、行政の支援の充実とともに、市内各地でパートナーシップが育まれるに至った。

■ 具体的な連携の取組

学まちコラボや各区の支援の下、連携ネットワークを各学区自治会、住民団体、NPO法人等と共に各地で立ち上げ、推進体制（各地区連携推進ネット）を作るに至っている（左京区松ヶ崎地域、中京区三条地域、山科区百々地域）。



【左京区松ヶ崎地域】
防災まちあるき

■ 今後の活動

最近三条京町家キャンパスを拠点に、大学の枠を超えた連携の取組を展開しつつある。今後、さらに拠点化による地域再生モデル事業からの一般化をはかり、さらに実践成果を深めたい。

■ 成果

①大学・学生の視点

常に地域、社会と関わりながら学びの機会を得ている。フィールド、つまり生きたまちを体感することは、地域の方々の声に耳を傾け、地域と共にまちを考えることで、まちなかインターンともいうべき、机上の学習とはレベルの異なる体験につながる。この経験を踏まえた発想による実践・実証的なテーマは学術的・提案的・創造的な実績となり、結果として多くの学生が得た学びをキャリア獲得に結びつけている。

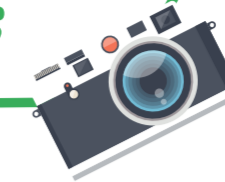
②地域の視点

町内会づくりをテーマにした安心安全マップづくりは、災害時に助け合える地域のつながりへのきっかけづくりになった（左京区松ヶ崎地域）。

地域活動への参加が生活に溶け込み、自身の活動範囲も広がり、多くのことを知る機会が増えた（山科区百々地域）。

粘り強い活動の継続で、当初に比べて新しい意味での活気が生まれている。お祭りが賑やかになることで人々が三条通に目を向けるようになり、住人の意識は確実に変わった（中京区三条地域）。

活動写真



【左京区松ヶ崎地域】
夏祭り



【左京区松ヶ崎地域】
防災セミナー



【中京区三条地域】
京町家「ににぎ」オープンセレモニー



【中京区三条地域】
マップお披露目会 with 鷹山



【山科区百々地域】
百々小学校夏祭り昔遊びブース



【山科区百々地域】
昔の遊び祭り みちくさの家での交流



学まちコラボ事業（平成19・25年度採択）
中京区民まちづくり支援事業（平成24・27・28年度採択）

左京区まちづくり活動支援交付金事業（平成24・25・27年度採択）
山科区“きずな”支援事業（平成28年度）